

令和4年度第2回庄内町スポーツ推進審議会 会議録

- 1 開催日時 令和5年2月3日(金)午後1時28分～午後3時10分
 - 2 開催場所 庄内町役場B棟入札室
 - 3 出席者 齋藤正明、富樫 希江、齋藤 禎、加藤則代、佐藤義徳、池田 理、佐藤博文
佐藤正美、齋藤雅志、金子清志
 - 4 欠席者 なし
 - 5 事務局 樋渡社会教育課長、齋藤社会教育課主査兼社会教育係長、林社会教育係主任
-

1 開 会 社会教育課長

2 会長挨拶 佐藤正美会長

3 議事録署名委員の氏名 佐藤 義徳 委員 齋藤 雅志 委員

4 報 告

- (1) 令和4年度社会体育事業実施状況について
資料に基づき、事務局説明
⇒意見、質問なし
- (2) 令和5年度庄内町スポーツ協会補助金について
口頭により、事務局説明
⇒意見、質問なし

5 協 議

- (1) 令和5年度庄内町教育委員会の重点と視座(案)について
資料に基づき、事務局説明
⇒意見、質問なし
- (2) 庄内町スポーツ推進計画(案)について
令和5年1月18日付けスポーツ庁次長 「地方スポーツ推進計画」の策定等に係る事務負担の軽減について(通知)
資料に基づき、事務局説明

庄内町スポーツ推進計画(案)について、加筆、修正等の部分を資料に基づき、事務局説明

【会長】基本方針1 1-(4)成人期の具体的な施策のスポーツボランティアの普及促進で、「スポーツボランティア」とは、どのようなことか。

【事務局】スポーツイベント等で、町民の方からボランティアとして参加していただくことを想定している。例でいえば、月山龍神マラソンのように地域の方々が参加し、盛り上げていただくことを想定している。

【会長】スポーツボランティアという組織があるわけではないのか。イベントごとに募集してということか。

【事務局】 場合によっては、スポーツ推進委員の皆さんから協力していただくことになるが、広く町民の方々から参加していただきたいと考えている。

【事務局】 月山龍神マラソンでも事例はあるが、企業で応援したいという団体もあり、その輪が広がっていけばと考えている。イベント以外でもできることはないか、模索していく。

【委員】 基本方針1 1- (3) ジュニア期（中・高校生）の表記について、日本スポーツ少年団の改革プランの中に「ジュニア・ユース世代」との表記があり、「ジュニア」だけではスポーツ少年団の場合は小学生が対象となっている。中学生以上は「シニア」となっている。「ジュニア・ユース期」の方が包括的な表現となるため、いいのではないか。

【委員】 スポーツ種類によって言い方が違うのではないか。ジュニア期でも通じると思うが。

【委員】 今後のことを考えて、「ジュニア・ユース期」としては。

【事務局】 修正する。

【委員】 3- (3) 障がい者スポーツの普及・推進について、公認障がい者スポーツ指導員について、総合型スポーツクラブに1名有資格者がいる。また、3月の第1、第2土日の4日間で、東根市にて同指導員の資格取得講習会があり、コメっち職員2名が受講を予定している。毎年この講習会はあるようなので、最終的に全員が資格を取っていくようにしたい。

【委員】 スポーツ推進委員に派遣依頼した際に申請は教育委員会でいいのか、派遣した場合に日当等の経費の持ち方はどのようになるのか。申請した方の負担になるのか確認したい。

【事務局】 昨年2月に公民館長宛で、スポーツ推進委員が参加する事業、会議等への報酬の支給方法について通知を出しているが、地域行事に参加する場合は、町民の一人としてボランティアで参加してもらいたいとお願いしている。その際は、町から報酬や費用弁償等の支給はしないとしている。ただし、まちづくりセンターでスポーツ推進委員から指導してもらいたいということであれば、まちづくりセンターの基準により謝礼を支払うことについては、まちづくりセンターの考え方でいいと考えている。

【委員】 コメっちにて、ニュースポーツの指導をお願いしたい場合は、どのようにしたらよいか。

【事務局】 指導者としてお願いする場合は、まちづくりセンターにて謝礼の対応をしてもらえればと思っている。

【委員】 申請は、社会教育課となるのか。

【事務局】 派遣ではないため、申請は不要と考えている。まちづくりセンターが直接スポーツ推進委員へ連絡し、協力をもらうこととなる。協力依頼をしたことを教えてもらえればいい。書類等は、求めている。

【委員】 町の特別職を勝手にお願いしていいのか。教育委員会で委嘱しているので、委員会できちんと対応するのが望ましいと思う。まちづくりセンターではその対応はできないのではないか。

【委員】 これまでのスポーツ推進委員に協力依頼が来ているのは清川地区と狩川地区のみで、学区地区で依頼がきているものは全て個人がメインとなっている。スポーツ推進委員として、正式に依頼が来ているものはあまり記憶がない。

【委員】 ここではっきり位置づけをしていただかないと、まちづくりセンターで依頼する際も迷ってしまう。

【委員】 消防団員に勝手にお願いするのと同じことになる。

【委員】 教育委員会できちんと把握していかないといけないのではないか。

【事務局】改めて検討させてもらう。

【会長】狩川まちづくりセンターで、ボッチャとモルックの大会をするとのことであったが、1回目はコメっちから指導してもらい、2回目をスポーツ推進委員にお願いする際に謝礼が1人5,500円かかるとなると2人で11,000円となるので、酒田米菓にモルックの指導者いるため、そちらにお願いした。本来であれば、町から派遣という形がいいのではないか。

【委員】スポーツ推進委員は、年額報酬ではなく日額報酬となったのか。

【事務局】そのとおり。

【事務局】全ての派遣に対して報酬を支払うとなると、予算の組み方が難しくなる。本来あるべき姿を検討していかなければいけないと感じた。

【委員】事業をする場合、スポーツ推進委員に頼みにくくなってしまう。きちんと教育委員会を通して派遣してもらうことにしてもらいたい。

【事務局】予算確保を考えれば、前年の予算要求時期に次年度にどの程度お願いする予定かを確認していかなければいけないため、精査していきたい。

【委員】指導者として参加するのか、一参加者として出るのか難しいところはあると思う。運動会がいい例だが、学区によって位置づけが違う。審判長として出る方、スタッフとして出る方様々である。町民運動会に関しては、ボランティアで参加している。線引きがとても曖昧なところがある。

【委員】頼む方にしてみれば教えてもらいたいということなので、指導者という立場なのかなと思う。

【委員】元は、体育指導委員という立場だったので、本来業務と言えばそのとおりである。そのために、色々な研修を受けている。

【委員】スポーツ推進委員は、研修機会が多いのでその知識を利用したい。

【委員】3-(5) スポーツ施設の整備と活用の具体的な施策において、「AEDの設置及び操作法の研修等、スポーツ活動の安全確保と傷害予防」において、こちらにも安全対策の文言を付け足した方がいいのではないか。「～発生した場合の医療機関等への連絡体制の強化など適切な～」と整合性を図った方がいいのではないか。医療機関等の「等」には、医療機関だけでなく消防署の場合もあるため、入れた方がいい。

【事務局】修正します。

【会長】同じく3-(5)に「スポーツごみ拾い」との表記があるが、語呂合わせで5月30日にみんなでごみを拾いましょうというようなイベントはないか。

【事務局】5月3日に町のイベントとして実施しているものはないが、クリーン作戦として7月下旬から8月上旬に行っているものはある。町で一斉に実施しているものはないが、各集落であったり学区地区で実施したりしているところはある。

【会長】企業などでは、5月30日「ごみ0作戦」として取り組んでいるところもある。

【会長】3-(2) 体育施設を活用したスポーツ機会の提供の具合的な施策に「健康教室の開催やスポーツ関連情報を広く発信して、人が集まる施設を目指します。」とあるが、コメっちの会員になると町湯が割引になるのを皆さんご存じか。

【事務局】コメっちの企画か。高齢者限定か。

【委員】町湯の企画であり、コメっちでもわからなかった。2年ほど前にコメっちの会員から情報を聞いて初めて知った。対象は、会員証を持っていれば誰でも割引の対象となる。

【会長】このような情報をどの程度知っているのかと疑問がある。自分も体育館に行って初めて

情報を得たことなので、広く情報を発信していただければと思う。この日は、一般開放日、この施設にモルックやボッチャの道具が入りました、何曜日はこの施設が利用しているなど、情報の発信ができたらと思っている。広報にも年1回でいいので特集号があればと思う。

【委員】現在、コメっちのホームページを新たに作成中であり、新年度からリニューアルする予定である。そこには様々な情報を掲載したいと思っている。スポーツ少年団の情報も掲載する予定。スポーツ協会も積極的に利用してもらいたい。町のホームページにもリンクしてもらおう予定でいる。

【事務局】町の広報には、年2回スポーツ推進委員のコーナーを設けてもらうようお願いしており、簡単にできる運動やイベントの紹介等を掲載したいと考えている。

【委員】県のスポーツ推進委員協議会でも広報力不足が課題となっており、もっとスポーツ推進委員のことを知ってもらいたいという思いもあり、来年度お願いした。

(3) 答申書（案）について

資料に基づき、事務局説明

第3章 施策の展開について

【委員】文章には「現状把握」となっているが、説明では「現状の把握」と言っていたが、どちらがいいのか

【委員】「の」を入れた方が丁寧な気がする。

【委員】既に修正したものを案として最終的に出していくため、わざわざこの意見を答申書に乗せる必要があるのか。

【事務局】答申書を出す段階では既に修正したもので（案）とするが、教育委員会に答申書を出してその内容で確定していくという流れであり、委員からの意見として反映させたものとなるため、掲載している。

【事務局】現時点では意見を反映しているものの、諮問の時点ではなかった項目のため意見をいただいたということで載せてもいいのではないかと考える。

基本方針1

【委員】(1)「ジュニア期」を「ジュニア・ユース期」へ変更していただきたい。

【会長】休日の部活動の地域移行に関しては、受け皿はコメっちで決まりということでもいいのか。

【事務局】コメっちを受け皿として整備していきたいとは考えているが、スポーツ少年団なども考えられるため、コメっちわくわくクラブ等を入れておいた方がいいかもしれない。

【事務局】計画（案）の3-（1）総合型地域スポーツクラブによるスポーツ活動の推進の具体的な施策に中学校の休日の部活動の段階的な地域移行にも「受け皿」という表現を使用している。

【会長】町とコメっちとは調整段階ということだが。

【事務局】計画（案）は、コメっちに関連する事項を掲載しているが、答申書（案）はあくまでも審議会が町に対して意見を伝えるものであるため、コメっちに限定した話ではないとすればスポーツ少年団を含めた「等」と入れるので、計画（案）、答申書（案）共にこのままでもいいと思う。

【委員】中体連にクラブとして参加する場合、有資格者がいないといけないなど細かい条件があ

る。

【会長】中体連でクラブとして出場する、コメっちが資格を持っていないと出られないということになってしまわないように、クリアしていかなければならない。

【事務局】今後、課題がたくさんあるが、一つ一つクリアしていかないといけない。

【委員】最後の文言に「調整していく」と結んでいるので、決定はしていないということは分かる。

【会長】意思を示すということで「等」はいらないということでもいいか。

【事務局】受け皿としては、コメっちということで進めていく予定ではある。

【会長】中体連のクラブ参加に合致する総合型スポーツクラブにしていくという考え方のもと、「等」は入れないこととする。

基本方針 2

【事務局】(1)「JSP0」を「日本スポーツ協会 (JSP0)」に変更する予定。

基本方針 3

【事務局】(3)「公認障害者スポーツ指導員」の「障害者」の表記について、ホームページを確認すると「障がい者」となっているようなので、修正したい。また、「指導員」となっているが、「指導者」という表現をしている場合もあるため、再度確認して正しい名称で表記したい。

⇒資格の名称としては、「指導員」となっている。

答申意見の追加

【事務局】国において、「地方スポーツ推進計画」の策定等に係る事務負担の軽減についてということで、総合計画等に位置付けてあれば単独の計画を策定しなくてもいいとの通知があったが、国や県、近隣市町の動向を見つつ今後の策定に関して検討するなどの文言を入れた方がいいかを確認したい。

【委員】状況によっては変わる可能性があるということ載せておいてもいいのではないか。その文言があることで、様々なフォローができるのではないか。

【会長】そのような動きがあるということ周知できるので、載せることとする。

(4) その他

【事務局】今年度最後の審議会となる。本日審議していただいた内容を含め、計画(案)

答申書を作成していくが、皆さんから集まっていただくことができないため、答申書については会長と話し合い、最終決定していきたいと考えているが、いかがか。

【委員】会長一任

【委員】ホームページに掲載されている各種審議会等の会議録について、委員の名前が掲載されているものと「委員」という表現になっているものが様々である。自分は、名前を載せて掲載するのがいいのではないかと考えている。

【事務局】町で統一したものはない。

【事務局】委員長や会長などはそのとおりの表示をしているが、その他の委員については氏名を出さないものが多いと認識していた。

【委員】令和3年度のスポーツ推進審議会の会議録は個人名が入っていたが、令和4年度第1回

の会議録は「委員」という表現であった。なぜ途中で変わったのか

【事務局】ホームページに掲載する場合は、「委員」という表現を使うと認識していた。令和3年度については、委員の皆さんに配ったものは名前を入れて、ホームページ掲載するものは、「委員」としている。

【委員】令和4年度第1回の会議録は「委員」となっていたため、誰の発言でこの意見は誰に聞けばいいのかということが分からない。

【事務局】間違えて送ってしまった。

【委員】できれば、名前を入れてもらいたい。

【事務局】名前入りの会議録を再度お送りする。

【事務局】皆さんにお送りするものは名前入りで、ホームページに掲載するものは委員としたい。

【委員】それは、スポーツ推進審議会の場合か。他の審議会はバラバラだが。統一した方がいいと思う。できれば、名前を載せた議事録がいいと思う。

6 その他

7 閉 会